

全体会・分科会

学び深め、力を合わせて

永松範子指導員による全体講演



佐藤愛子さんを招き、ほいく誌について深めた(第5分科会)



ジャンケンで発想の転換を体験する参加者(第3分科会)



父母会・保護者会について交流した(第6分科会)



ひとつでも心に残ることあれば

子どもの行動には理由があること、それをしっかりと考えていくことが大切だということを学んだ。理由を見ないで善し悪しを決めるのではなく、向き合うことが大切。そして、1人で考えるのではなく、同僚や保護者との連携も大事だということも学んだ。永松範子先生の軽快なトークに、とても前向きな気持ちになることができた。

こうした研修会に参加して、気づきがあるのは良いことで、何かひとつでも心に残ることがあればOKという気持ちで参加している。やろうと思ってもすぐにはできないこともあるが、明日の保育につなげていきたい。

第2分科会 指導員の役割と仕事)

大船渡市 放課後児童クラブゆうゆう 指導員 熊谷 央子 さん

基準維持へできること取り組む

前に勤務していた学童で1人で保育していた時に、走り回って遊んでいた子がロッカーに頭をぶつけて軽度の裂傷を負ったことがあった。止血、保護者への連絡、病院への付き添い。様々な対応をしなければならず、他の指導員が来るのを待って病院へ向かった。今思い出してもゾッとする。従うべき基準ができてやっとな安全に保育をする体制ができ、保護者の方々が安心して仕事に向かうことができるようになったと思うのに、参酌化されてしまった。この分科会に参加して市町村が条例を改正しないよう、今後の県連協、市連協の活動の中で自分ができることにしっかり取り組んでいきたいと思った。

第1分科会 子どもたちのため岩手の学童保育の拡充を！)

盛岡市 学童保育クラブくるみ子ども会

指導員 澤口 周 さん

分科会参加者感想

夕食交流会

岩手の学童保育拡充を



三浦朝之 巣子学童クラブ
第1副会長の音頭で乾杯



滝沢のTにちなんだダンスで会場を盛り上げた滝沢市連協



指導員の技が光る気仙連協の
ゴム飛びパフォーマンス



懐かしのひげダンスで40周年
をPRした盛岡市連協



海賊に扮してひょうりひょうたん島
を踊った花巻市連協

自分の学童のよさを知れた

よその学童のことを知ることができ、よかった。みなさんの話を聞いて国分学童は色々な面で恵まれているなと感じた。うちの学童は保護者参加のイベントも多く、よそに比べて保護者同士のつながりがある。自分の学童のよいところが見えた。

北上市の学童では、3月11日に電気を消してロウソクで過ごすという訓練を行っており、実際に停電になるとどうなるのかを考える機会になっているという話が印象的だった。震災を忘れないという意味も込められているようで、よい取り組みだと思った。初めての参加で緊張したが、世話人さんが話しやすい雰囲気を作ってくれて、楽しく有意義な時間になった。

(第6分科会 父母会・保護者会ってどんなところ)

子どもたちをどう導いていくか

発達障害の子どもの誤解されやすいので、通訳が必要というお話が印象に残った。表現が豊かな指導員は受けとめ方が広いので、何かトラブルがあっても、通訳ができ、子どもたちが心を通わすことができるということを知った。

先生のお話を聞いて、自分のこれまでの対応が間違っていたことが確認できたほか、指導員同士の理解、連携が大切だということを改めて実感した。とても分かりやすいお話で響く言葉が多かった。長くやっているからこそ、迷いもでてくる。一人ひとり違う子どもたちをどう導いていくか、研修に参加することで考える機会になった。

(第3分科会 支援を必要とする児童とともに)

滝沢市 こくぶん学童クラブ国分

- 保護者 木崎 あゆみ さん
- 保護者 高橋 千鶴子 さん

北上市 江釣子学童保育所おひさまクラブ1

- 指導員 三田 あゆみ さん